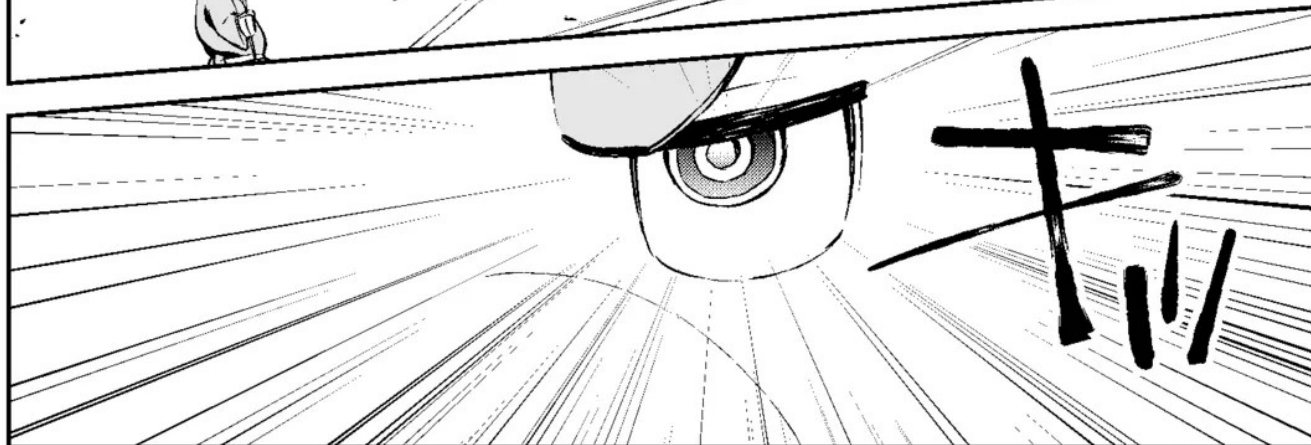
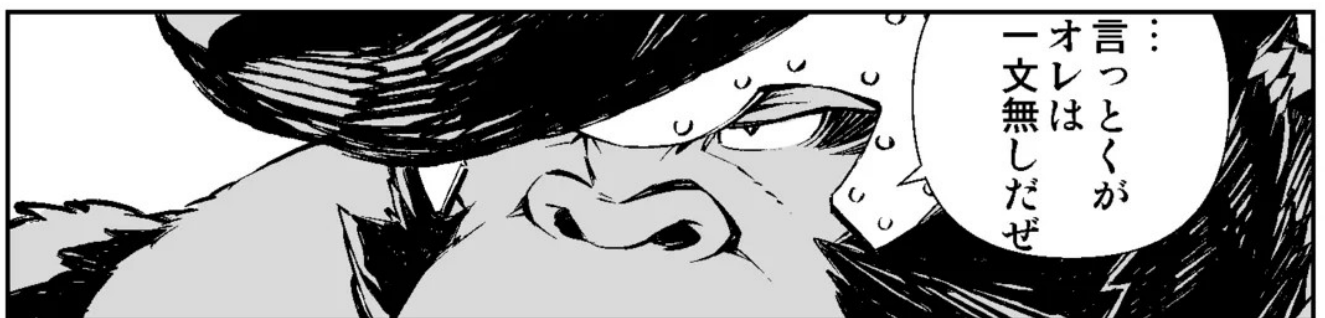








っ...!?



いえ、お金が
ほしいわけでは
ありません

…じゃあさつさと
岡っ引きにでも
引き渡せばいいだろ

いえ、
それもやめて
おきましょう

私はあなたの話を
聞きたいだけ
ですから

話だあ？

はい
あなたほどの体躯と
腕の持ち主がなぜ
山賊をやっているのかと

奇襲もせず
殺意も薄い
ようでしたし

はっ、嫌味か
あんた

今、そのデブ犬に
負けたところ
だろうがよ

彼は武家の生まれで
剣の腕は達人級です

彼に勝てる者は
そうそう
いないでしょう
…1対1ならね

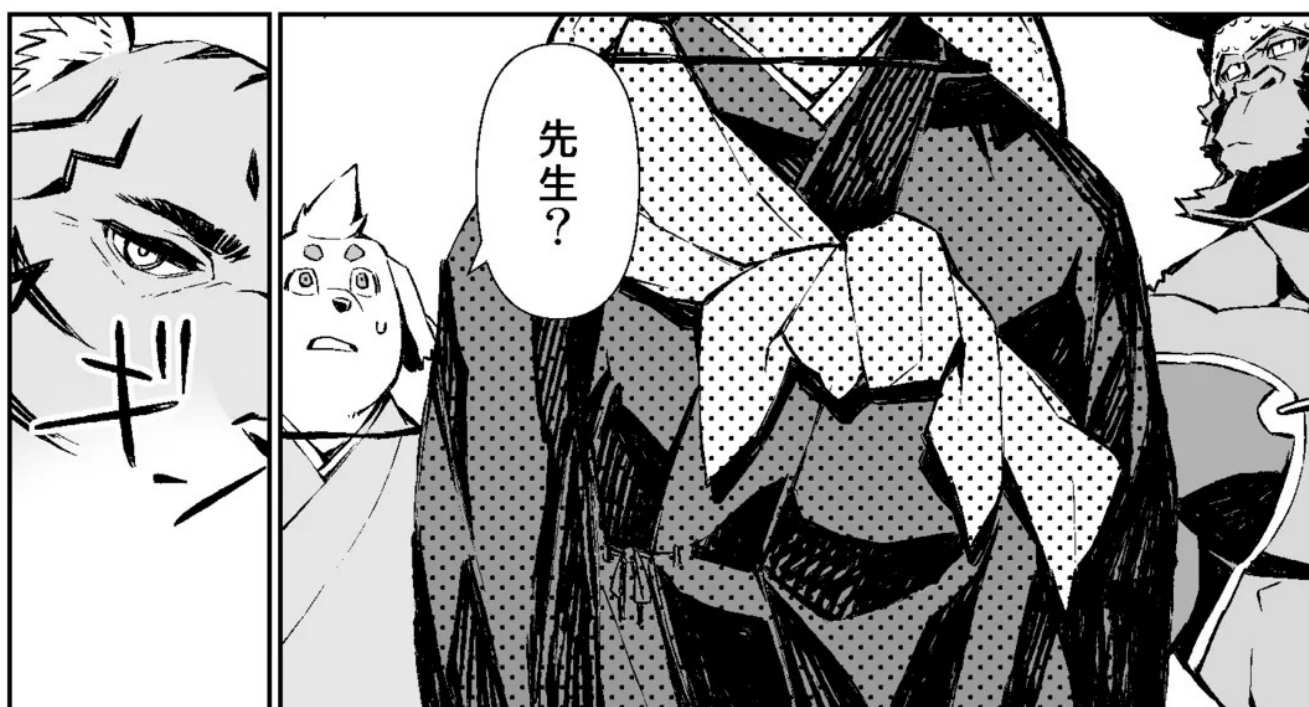














大変だあ…!!

今回はどんな
ことになって
しまうんだー!!



目が開いてる!

てことは先生、
また取り憑かれて…



…なんだよ



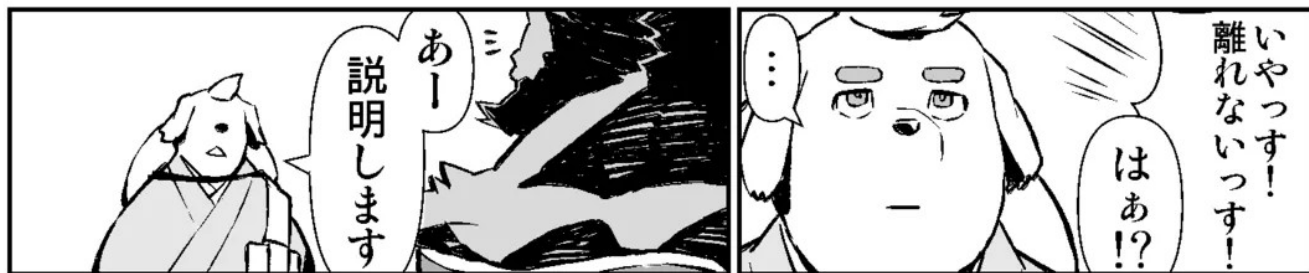
アニキー!!

うわ!!
なんだあ…!?



…アニキ

は!?













はあ!?

あ
起きた



そう
そこそこ

こうっ
すか?

うまい
うまい

ん



何してんだ
てめーら!!?

おっと
暴れない方が
いいですよ

その支柱が
倒れたら大変な
ことになるのは
知っている
でしょう?



さあやるのです
猿次さん!

思う存分!!

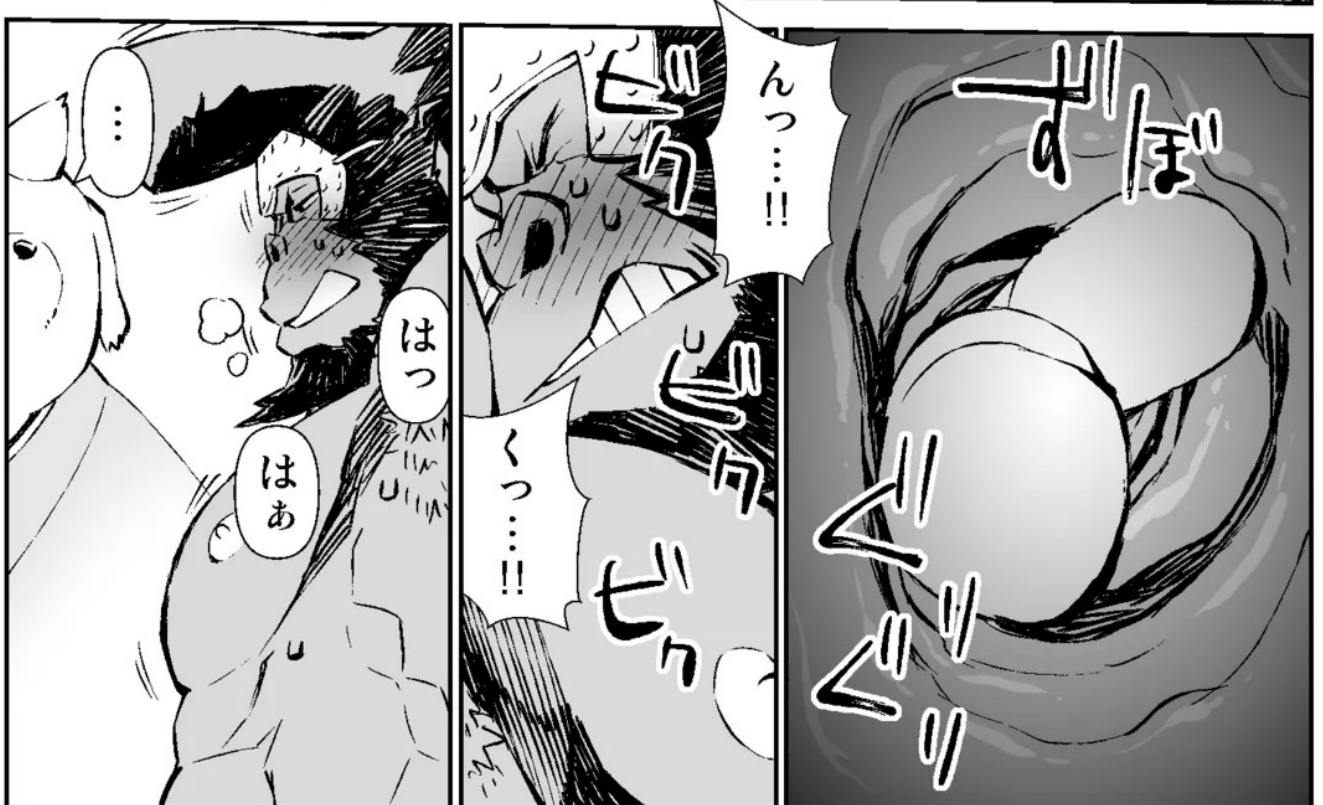
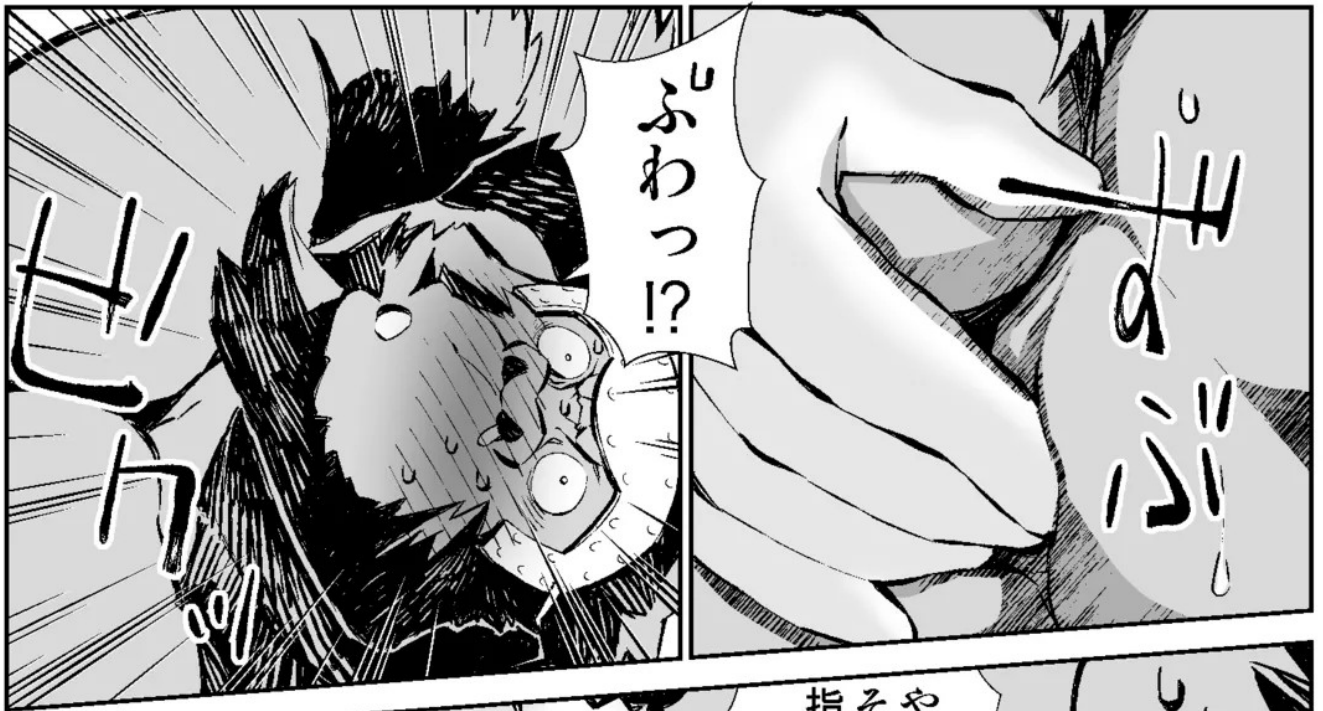


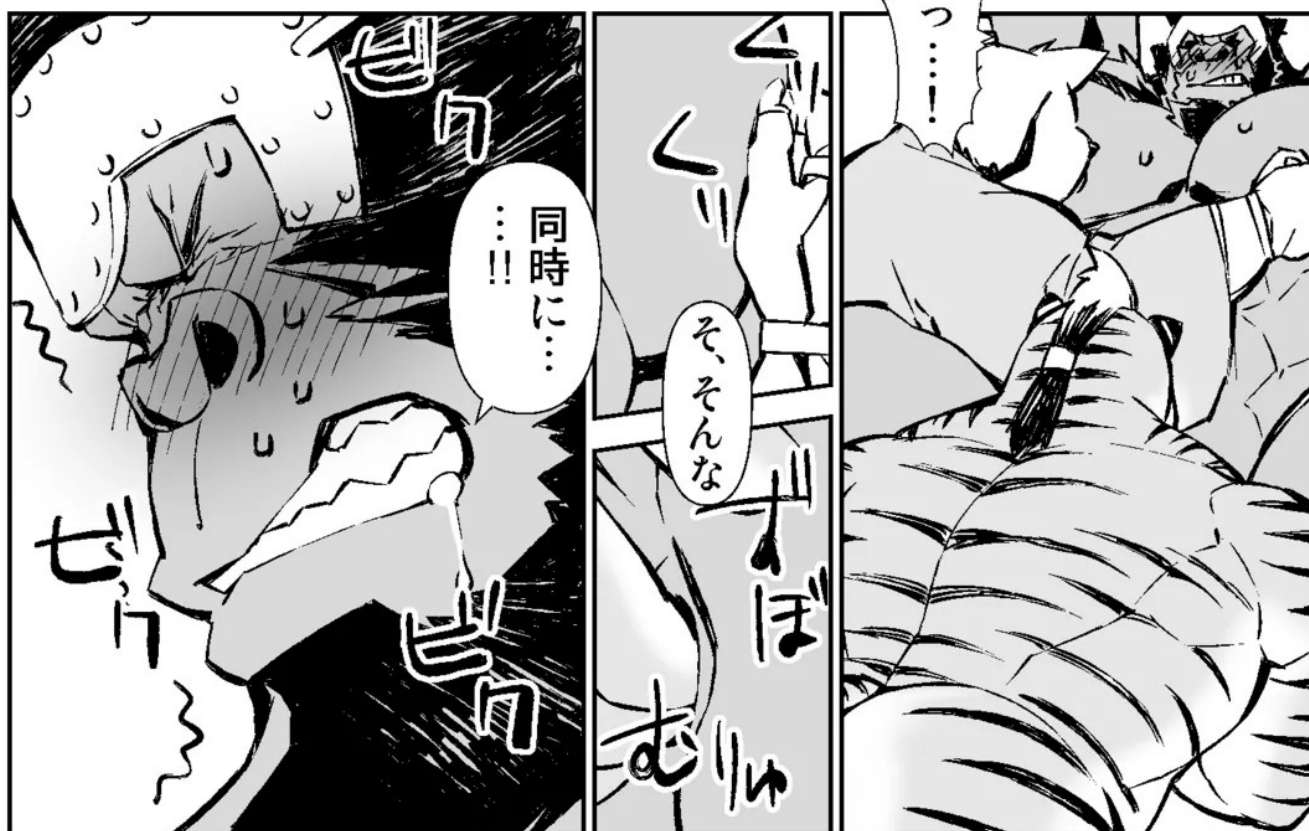
てめー...!!



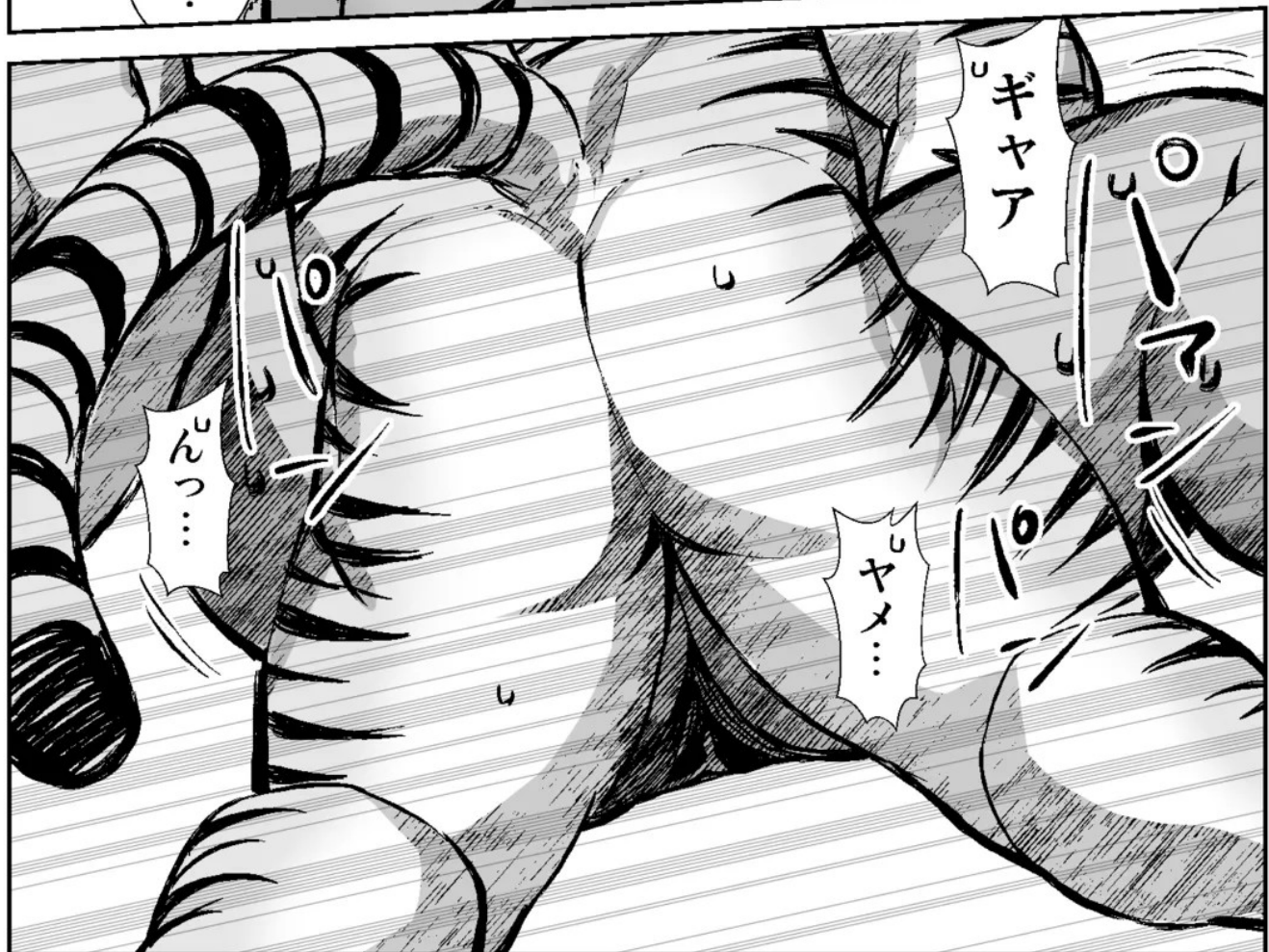
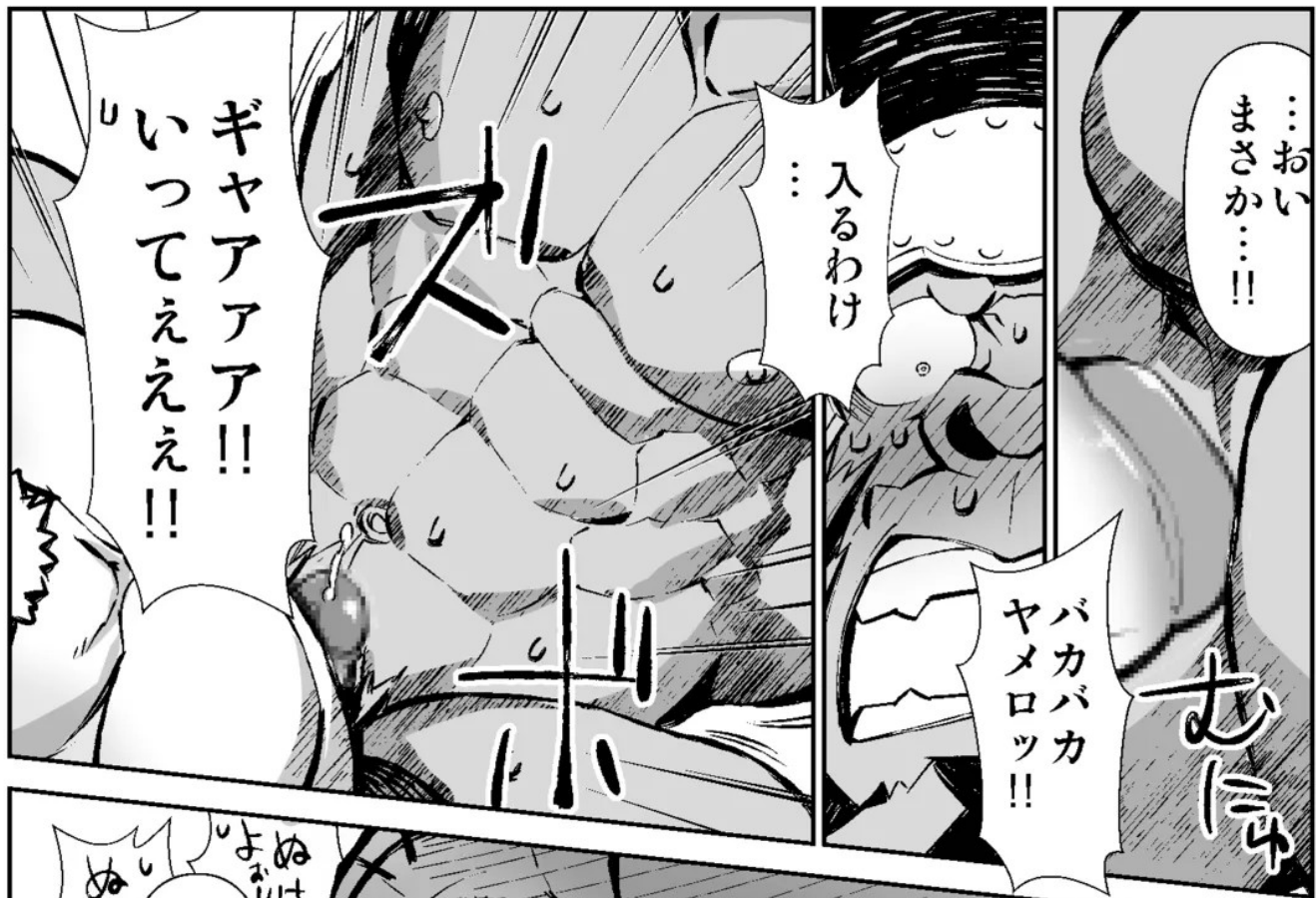
フッフ

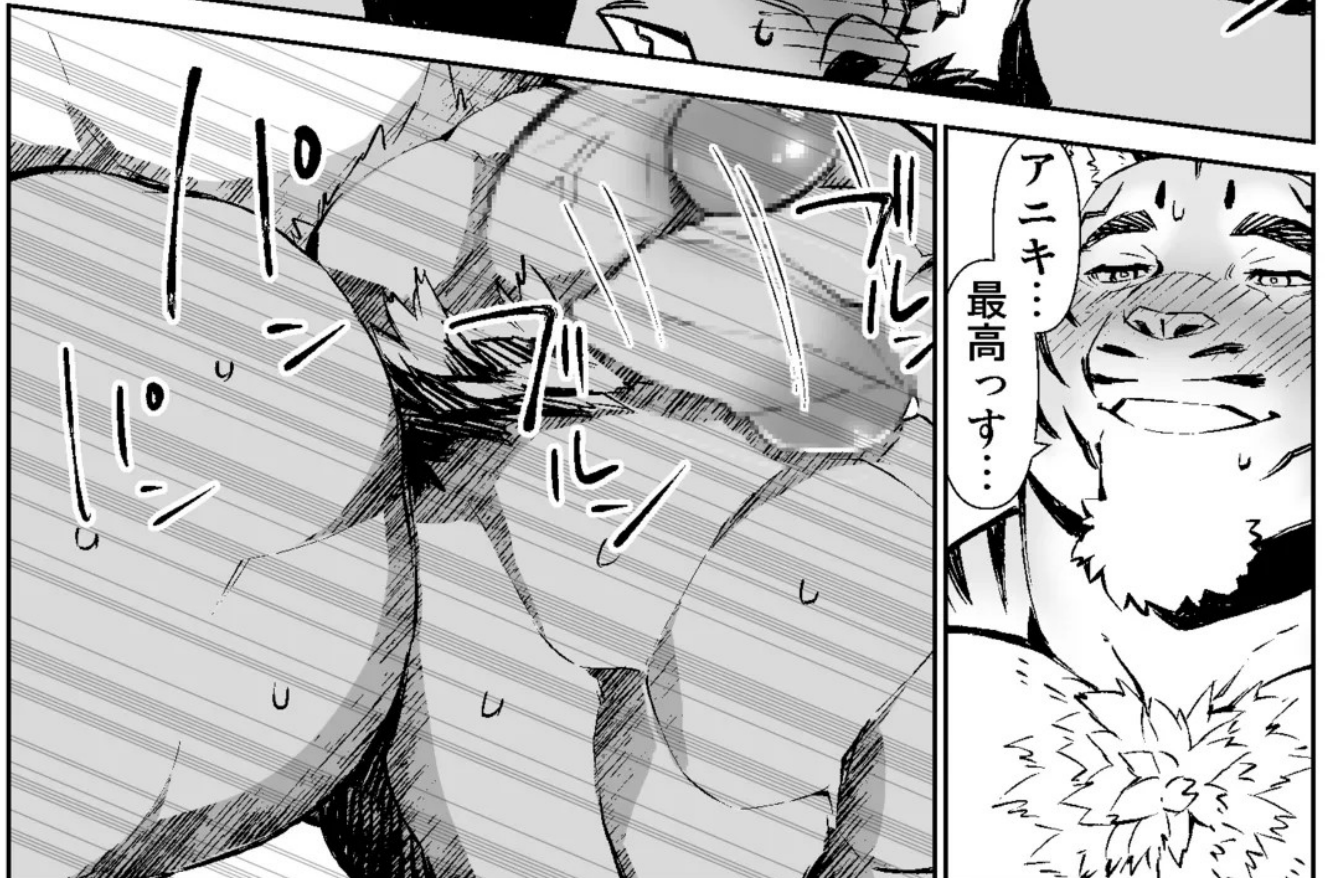


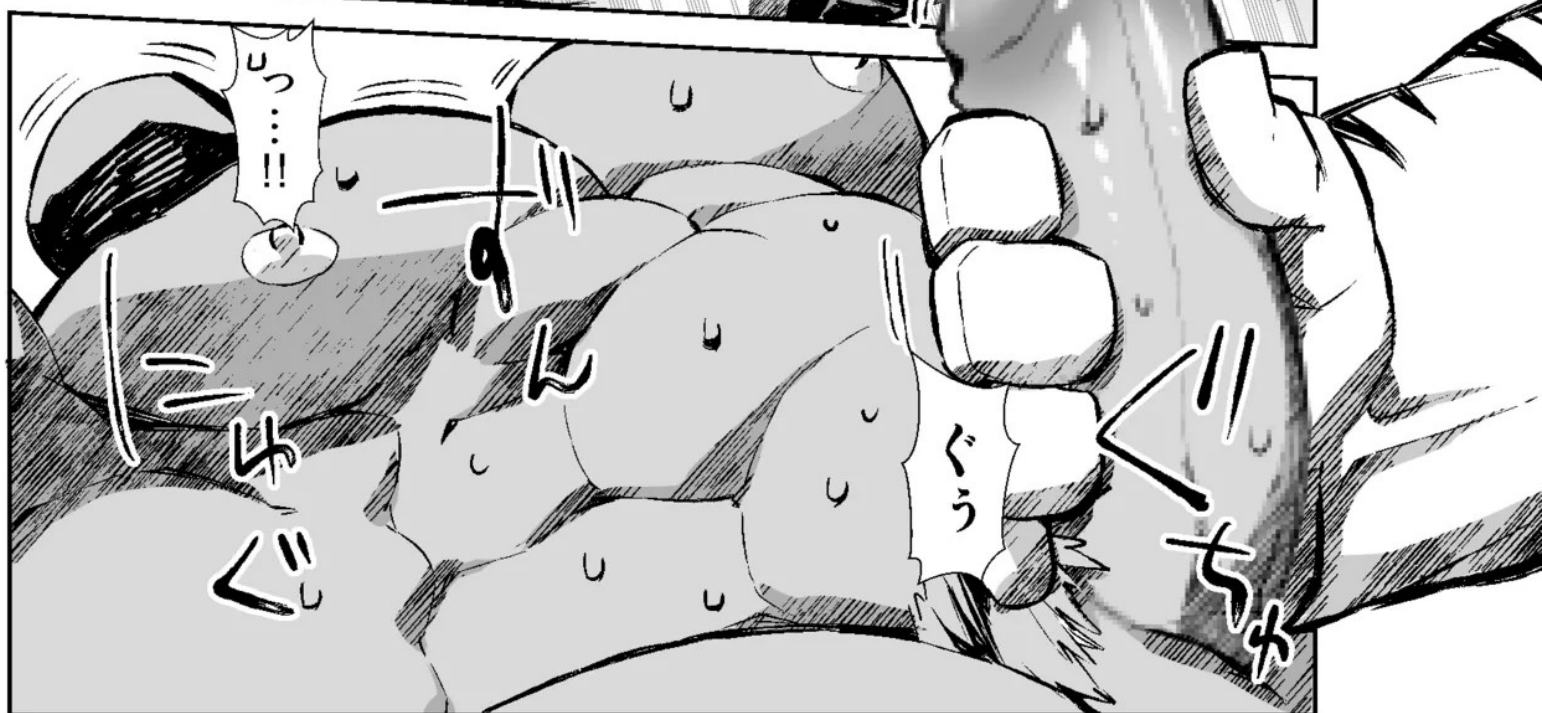




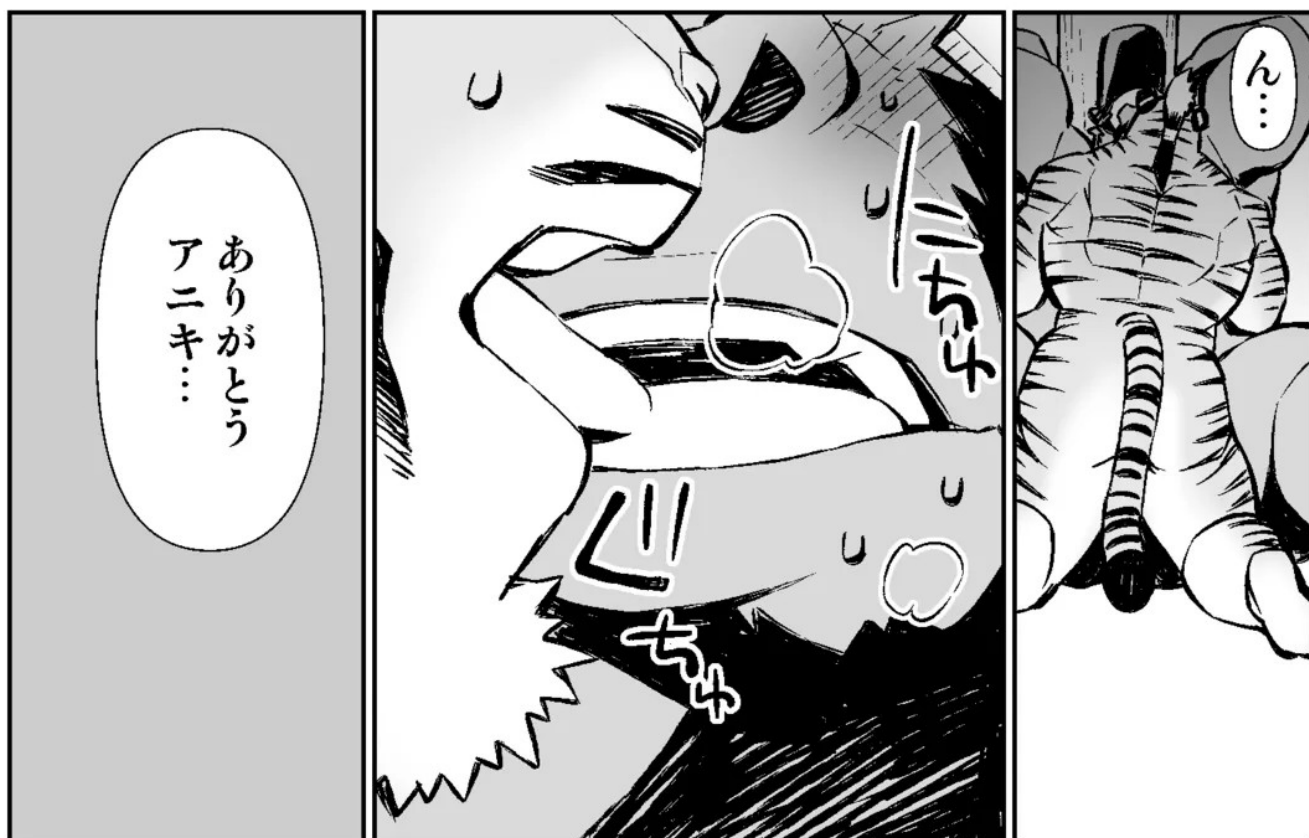
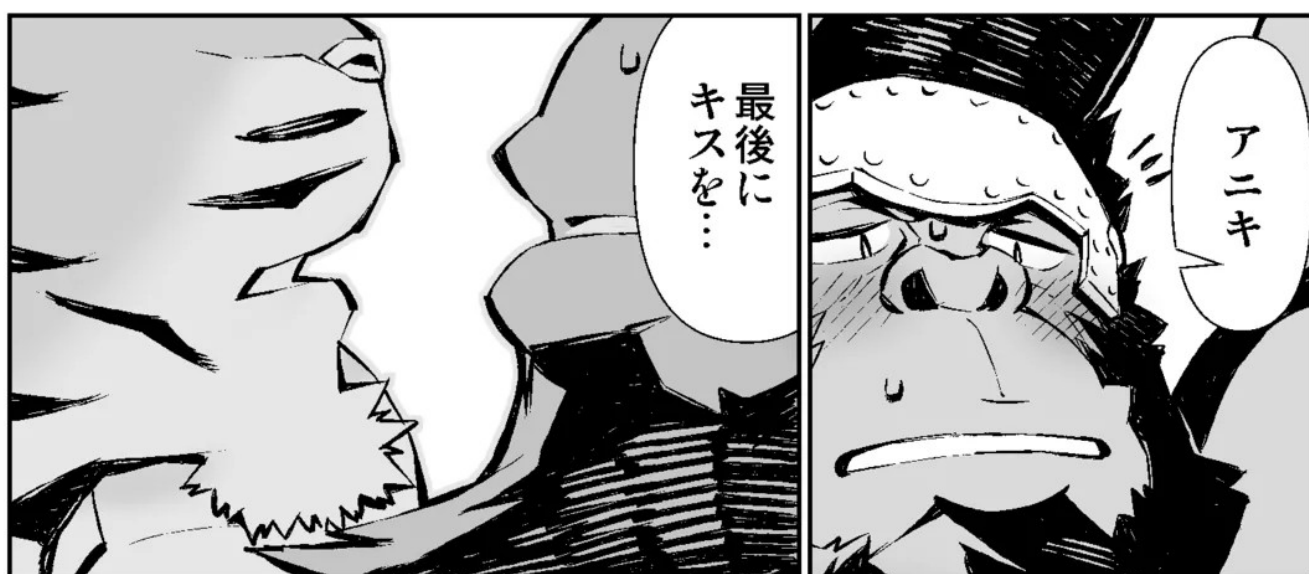














翌日





